

口演，論文，著書など

外国語学部

井上 俊治

その他

1. 海外の大学との協定推進のため協議・模擬授業を実施.
(1) 杭州師範大学, 浙江師範大学, 浙江工業大学, 浙江外国語学院. 2012 年 6 月 13 日～16 日.
(2) 国立政治大学, 台湾城市科技大学, 大仁科技大学, 南台科技大学, 国立高雄餐旅大学. 2013 年 3 月 19 日～24 日.

今泉 喜一

その他

1. (教材公開) ホームページにおいて「日本語構造伝達文法」教材の公開継続と拡張.(パワーポイント形式・PDF 形式) <<http://www012.upp.so-net.ne.jp/nikodebu>> (「ニコデブ」で検索可能), 2013 年 3 月.

江戸 淳子

口演

1. 「研究の集大成としてのカナク・アイデンティティの語り」. 日本オセアニア学会, 宇都宮, 平成 24 年 3 月 23 日.
2. 「Kanak Customary Jurisdiction Seen in New Caledonia-How Kanak Custom Is Recontextualized in Legal Context」. Pacific History Association, Auckland, NZ, 平成 24 年 12 月 7 日.

木崎 英司

口演

1. 「新規事業計画立案に関わる要件Ⅰ」. 立教大学アジア人材開発プロジェクト, 東京, 平成 24 年 6 月 2 日.
2. 「新規事業計画立案に関わる要件Ⅱ」. 立教大学アジア人材開発プロジェクト, 東京, 平成 24 年 7 月 7 日.
3. 「ホスピタリティマネジメント」. 日本スポーツクラブ協会マネージャー養成講座, 東京, 平成 24 年 7 月 21 日.
4. 「顧客接点人材の育成」. 株式会社東京会館 TOP マネジメントセミナー, 東京, 平成 24 年 8 月 8 日, 9 日.
5. 「新規航空事業立案に関わる要件Ⅰ」. 立教大学アジア人材開発プロジェクト, 東京, 平成 24 年 10 月 27 日.
6. 「顧客接点人材の育成」. 新橋ロータリークラブ, 東京, 平成 25 年 1 月 22 日.

金田一 秀穂

口演

1. 「世界一受けたい授業—おもしろ日本語」. LUCIS 祭, 下関・梅光学院大学, 平成 24 年 11 月 7 日.

著書

1. 『日本人が大切に伝えてきた言葉と心—オツな日本語』 日本文芸社, 2012 年 11 月.

楠家 重敏

口演

1. 「駐日イギリス外交官の日本語学習・日本研究」. 日本英学史学会月例会, 東京, 平成 24 年 12 月 1 日.

論文

1. 「日英修好通商条約第 21 条をめぐって」. 『英学史研究』第 45 号: 45-56 頁, 2012 年 10 月.

黒田 有子

論文

1. 「オムーのゆらぎ」. 『杏林大学研究報告—教養部門』第 30 巻: 159-167 頁, 2013 年 2 月.

小山 三郎

論文

1. 「魯迅の「魏晋の風度および文章と、薬および酒の関係—九月、広州夏期学術講演会での講演」について」. 三国志学会編『三国志論集』汲古書店, 2012 年 10 月. 483-502 頁.
2. 「魯迅の晩年の作品」. 『杏林大学外国語学部紀要』第 25 号: 25-62 頁, 2013 年 3 月.

著書

1. 『文学現象から見た現代中国』(電子書籍) 晃洋書房, 2013 年 3 月.

齋藤 智志

論文

1. 「ポスト・フクシマの世界を生きるとは、何を引き受け、何について考えることなのか?」. 日本ショーペンハウアー協会編『ショーペンハウアー研究』第 17 号: 29-51 頁, 2012 年 11 月.

受賞, 特許等知的財産関係, 学会主催, 報告書等

1. (研究状況報告) 「思想課題としてのディルタイ—その批判的継承と展開 没後 100 年忌によせて」(共同報告), 教育哲学会編『教育哲学研究』第 105 号: 185-186 頁, 2012 年 5 月.

その他

1. (書評) 山本英輔他編『科学と技術への問い—ハイデッガー研究会第三論集』(理想社, 2012

年7月刊),『図書新聞』第3090号,第4面,2012年12月。

2. (講師) 郡山女子大学サマーリフレッシュプログラム. 教員免許状更新講習。(担当領域:教員としての子ども観,教育観等についての省察)
3. 日本ショーペンハウアー協会(理事および協会誌編集委員)
4. 日本ディルタイ協会(理事および協会誌編集委員)
5. 実存思想協会(幹事)

坂本 ロビン(Robin Sakamoto)

口演

1. 「当たり前って何だろう?~異文化コミュニケーションの基本~」. 神奈川大学外国語学部国際文化交流学科,横浜,平成24年10月11日。
2. “Global Citizenship in the 21st Century: the Contribution of a Hybrid Generation.” 異文化コミュニケーション学会年次大会,柏,2012年11月11日。
3. 「身近な国際人」. 杏林大学八王子キャンパス学生塾,八王子,平成24年12月13日。
4. “Re-imagining Higher Education from an Asian Perspective.” AIEA Annual Conference, New Orleans, USA, 2013年2月19日。
5. “Re-entry Preparation and Reverse Culture Shock.” 青年交流JETプログラム,「語学指導等を行う外国青年招致事業」,帰国前研修会,横浜,平成25年2月25日。
6. “Ascending Together: What Western Educators Can Learn From Asian Counterparts, and Vice-versa.” Asia-Pacific Association for International Education (APAIE), Hong Kong, 2013年3月12日。

著書

1. (共著) 八代京子; Cecilia Ikeguchi; and Robin Sakamoto, *What do you mean? : Exploring Communication Gaps*. 金星堂出版,2013年1月。

その他

1. (年次報告書編集) 第10回国際教育協力日本フォーラム—自立的教育開発に向けた国際協力—The Tenth Japan Education Forum. 東京・霞が関,2013年2月7日。
2. (編集委員) Association of International Education Administrators (AIEA)

詹 満江

論文

1. 「“水に沈められた西施”を詠じた詩—李商隠から大沼枕山まで—」.『杏林大学外国語学部紀要』第25号:1-10頁,2013年3月。

玉村 禎郎

口演

1. 「ことばと新聞」. 八王子市学園都市大学・大学コンソーシアム八王子,八王子,平成24年4月~7月(コーディネイト含む)。
2. 「京ことば・京文化」.NHK文化講座,平成24年4月7日。
3. 「日本語の特徴」. 京都府市民大学講座,主催:京都市・ラポール学園,京都,平成24年5月7日。
4. 「京都のことばと祭」. 京都大学コンソーシアム,京都,平成24年7月27日。
5. 「京ことばとその背景」.NHK文化講座,平成24年9月1日。
6. 「キリシタン資料の世界」. 八王子市学園都市大学・大学コンソーシアム八王子公開講座,八王子,平成24年9月18日。
7. 「日本語と漢文」. 八王子市学園都市大学・大学コンソーシアム八王子,八王子,平成24年10月~12月(コーディネイト含む)。
8. 「時代を彩る人びと—紫式部と清少納言—」.NHK文化講座,平成24年10月6日。
9. 「意味の世界」. 八王子市学園都市大学・大学コンソーシアム八王子,八王子,平成24年12月~平成25年1月(コーディネイト含む)。
10. 「時代を彩る人びと—藤原道長—」.NHK文化講座,平成25年1月5日。
11. 「時代を彩る人びと—菅原道真—」.NHK文化講座,平成25年3月2日。

論文

1. 「W. H. Medhurst の“VOCABULARY, ENGLISH AND JAPANESE”について—“do.”表記の項目を中心に—」.『杏林大学研究報告』第30集:93-109頁,2013年2月。
2. 「同字異訓」.『杏林大学外国語学部紀要』第25号:63-83頁,2013年3月。

著書

1. 「語構成分析と語義把握—『早晚』を例に—」,『国語語彙史の研究』第32集,国語語彙史研究会編,和泉書院,2013年3月,(左41-53頁)を担当。

受賞, 特許等知的財産関係, 学会主催, 報告書等

1. 八王子学園都市大学学長より感謝状を贈呈される。5年連続で講座を提供した功績から。平成

24 年 12 月 9 日 .

その他

1. 富士テレビ・関西テレビ『知らなきゃよかった NEWS』. 2013 年 3 月 26 日放送 .
2. 八王子地域 23 大学等留学生日本語弁論大会の指導, 於 杏林大学八王子キャンパス, 2012 年 11 月 .
3. 八王子地域 23 大学等留学生日本語弁論大会審査委員 . 主催: 大学コンソーシアム八王子 . 主管: 八王子市学園都市推進会議 . 後援: 八王子市, 八王子市教育委員会, 於 八王子市学園都市センター, 2012 年 11 月 .
4. 新村出記念財団評議員 (広辞苑)

塚本 慶一

口演

1. 「日本初の杏林大学大学院通訳翻訳研究コースについて」. 主催: 上海外国語大学, 中国・上海, 2012 年 5 月 3 日 .
2. 「日本初の杏林大学大学院通訳翻訳研究コースについて」. 主催: 東華大学, 中国・上海, 2012 年 5 月 4 日 .
3. 「日中同時通訳に係る人材育成のモデルについて」. 主催: 広東外語外貿大学, 中国・広州, 2012 年 5 月 29 日 .
4. (基調講演)「日本初の杏林大学大学院通訳翻訳研究コースについて—日本と中国における通訳者翻訳者養成の現状およびその将来」. 中国翻訳協会・北京第二外国語学院共同主催, 「第 6 回通訳翻訳の理論・実践・教育に関する国際学術シンポジウム」, 中国・北京, 2012 年 10 月 28 日 .
5. 「杏林大学の中国語教育と今後の方向性」. 主催: 杏林大学, 「杏林大学グローバル人材育成推進事業シンポジウム」, 東京, 平成 25 年 3 月 16 日 .
6. (集中講義)「日中同時通訳に係るトレーニング」. 北京語言大学および北京外国語大学, 中国・北京, 2013 年 3 月 28 日～31 日 .

その他

1. GP 採択
実施責任者として応募した「杏林大学の中国語圏で活躍するスマートでタフな日中英トライリンガル人材の育成」が, 文部科学省の「平成 24 年度グローバル人材育成推進事業」に採択 . 2012 年 9 月 .
2. スピーチ・コンテスト等の審査
(1)「漢語橋—世界高校生中国語スピーチコンテスト 2012 年度 日本大会」. 主催: 中国大使館・孔子学院, 東京, 2012 年 7 月 .
(2)「中国全国通訳コンクール」. 主催: 中国

翻訳協会・北京第二外国語学院, 中国・北京, 2012 年 10 月 .

(3)「中国人の日本語作文コンクール」. 受賞作品集, 主催: 日本僑報社, 東京, 2012 年 12 月
(4)「全日本中国語スピーチコンテスト」. 主催: 日本中国友好協会, 東京, 2013 年 1 月

3. 海外出張

(1) 上海外国語大学・東華大学・広東外語外貿大学との学術交流に関する意見交換 . 上海・広州, 2012 年 5 月 .

(2) 北京語言大学・北京第二外国語学院・北京外国語大学との学術交流に関する意見交換 . 北京, 2012 年 12 月 .

(3) 北京語言大学の創立 50 周年祝賀式典および北京大学日本語 MTI (通訳翻訳修士課程) の開講式典 . 北京, 2012 年 9 月 .

4. 取材対応

(1)「中国語通訳者養成のパイオニアとして 30 年の実績—サイマルアカデミー」, (株)サーチナ . 2012 年 9 月 .

(2)「“場, 友, 師” から“信, 達, 雅”へ」, アルク社・『中国語ジャーナル』2013 年春号 . 2013 年 1 月 .

(3)「杏林大学のグローバル人材育成推進事業について」, 日中友好協会新聞・『日本と中国』2153 号 . 2013 年 3 月 .

(4)「杏林大学: 日本語・中国語・英語を駆使したタフな交渉力を身につけるトライリンガル人材の育成」, (株)アネスタ・『グローバル化に挑戦する大学』臨時増刊号 . 2013 年 3 月 .

塚本 尋

その他

1. 「グローバル人材育成推進事業」の一環として, 海外学術協定校である北京の北京第二外国語大学・北京語言大学・北京外国語大学を訪問。教員と学術研究・学生指導・大学院生指導・カリキュラム構築・共同研究などを話しあい, 協力関係が一層発展するように活動。ことに教育実践の内容について詳細な意見交換を実施。平成 25 年 1 月 3 日～6 日 .

出嶋 靖志

口演

1. 「観光における, 健康と環境の科学—観光保健生態学とは」. 観光学術学会第 1 回大会, 和歌山, 平成 24 年 7 月 8 日 .

2. 「観光価値評価に関する考察-4 LVI (Land Value Index) の開発」. 日本国際観光学会第16回全国大会, 東京, 平成24年10月27日 (鳥尾克二教授との共同発表).

著書

1. 「環境と健康」「消毒法」, 『衛生学・公衆衛生学』第2版第8刷, 出嶋靖志, 東洋療法学校協会編, 医歯薬出版, 2012年, 71-128頁, 201-216頁.

その他

1. 観光教育における保健理論的基盤: 健康科学, 食と健康のエコロジー, 観光保健論, 福祉観光論, サービス衛生論, 旅行医学概論の各授業における, 環境・保健・生態学的視点の導入.
2. 日本民族衛生学会 (評議員)

遠山 菊夫

論文

1. 「コミュニケーションの名手としての名探偵エルキュール・ポワロ (1): 外国人であることを利用した巧みな「自己呈示」—現代日本社会に求められるコミュニケーション能力についてE. ゴフマンの相互行為論を応用して考える—」. 『杏林大学外国語学部紀要』第25号: 85-115頁, 2013年3月.

その他

1. 「異文化の集い〜シャーロックホームズの冒険」. (地域社会の国際化を目標として地元企業と提携し, 外国人ゲストスピーカーを招聘し出身国について一般の八王子市民や学生に講演していただき国際交流を図るイベント。遠山ゼミナール学生が企画・運営するPBL形式の活動。定期開催場所は八王子.)
第1回「ここが違う! カナダとアメリカ」2012年5月27日 (日).
第2回「中国人が語る本当の中国」2012年6月17日 (日).
第3回「イギリスの田園生活」2012年7月22日 (日).
第4回「新興国インドと多民族国家ネパール」2012年8月26日 (日).
第5回「いくつもの顔を持つアメリカ」9月16日 (日).
第6回「大自然! アフリカの縮図カメルーン」10月21日 (日).
第7回「スローライフな観光立国ニュージーランド」2012年11月24日 (土).
第8回「西洋文明発祥の地ギリシャ〜古代と現代の交差点〜」2013年2月24日 (日).

第9回「東南アジアの『ラテン国家』フィリピン〜知られざる本当の姿〜」2013年3月23日 (土).

長谷川 弘子

論文

1. 「ゲーテと美術 (1758-1763)—フランクフルトの画家達とその影響—」. 『杏林大学研究報告—教養部門』第30巻: 181-190頁, 2013年2月.

その他

1. (書評) 野口芳子著『卒論を楽しもう—グリム童話で書く人文科学系卒論』武庫川女子大学出版部. *Flaschenpost*, Nr. 34, ゲルマニスティンの会: 22頁. 2013年5月10日.

柳田 義男

その他

1. (講師)「厚生労働省規格ホテル業職業能力評価制度に係る運営管理並びに審査員研修会」. 東京, 2012年9月9日.

荒川 みどり

口演

1. 「日本語文型と使用場面1」. 八王子国際協会日本語ボランティアステップアップ講座第1回, 八王子, 平成24年9月8日.
2. 「日本語文型と使用場面2」. 八王子国際協会日本語ボランティアステップアップ講座第4回, 八王子, 平成24年10月13日.

論文

1. 「研究ノート: 大出正篤の初級教科書からみる戦前戦中の中国東北部における成人向け日本語授業」. 『杏林大学外国語学部紀要』第25号: 117-127頁, 2013年3月.

その他

1. (コーディネート) 台湾・大仁科技大学語学研修, 於 杏林大学八王子キャンパス, 平成24年7月23日〜8月4日.

嵐 洋子

口演

1. (共同発表)「『地域社会により順応するための方言教材』の開発」. ICJLE Nagoya 2012, 名古屋, 2012年8月19日.
2. (共同発表)「日本語音声教育方法再構築のために—『みんなの音声教育』プロジェクトについて—」. 日本語教育方法研究会第39回研究会, 金沢, 平成24年9月14日.

倉林 秀男

口演

1. 「文学作品の曖昧性—ヘミングウェイ作品における曖昧性について—」. 日本文体論学会第 101 回大会, 東京, 平成 24 年 6 月 24 日.
2. 「Story-Retelling を中心とした英語発信能力養成のための基礎研究」. 外国語教育メディア学会関東支部第 129 回研究大会, 東京, 平成 24 年 10 月 27 日.
3. (パネリスト) 「Hemingway 作品を読み解く—語用論, 文体論, 認知言語学の接点を求めて—」. 「文学と言語学の狭間でヘミングウェイを読む—揺れ動く解釈と登場人物の心理—」 日本語用論学会第 15 回大会, 吹田, 平成 24 年 12 月 1 日.

論文

1. 「英語教員養成における諸問題—教育システムの包括的点検と再構築に向けて—」. 『杏林大学研究報告教養部門』第 30 巻:83-92 頁, 2013 年 3 月.

著書

1. (編集・事典項目執筆) 『ヘミングウェイ大事典』. 今村楯夫, 島村法夫監修, 勉誠出版, 2013 年 7 月.

その他

1. 日本英文学会 (事務局・ウェブマスター)
2. 日本ヘミングウェイ協会 (運営委員)
3. 日本文体論学会 (運営委員, 編集委員)

高木 眞佐子

口演

1. 「キャクストンが使用した英語エグゼンプラー発見の意味—Prose Brut 写本と *Chronicles of England* (1480)—」. 日本中世英語英文学会第 28 回全国大会, 広島, 平成 24 年 12 月 1 日.

論文

1. 「Caxton's Revision of *Le Morte Darthur*: The Tudor Propaganda and Self-Filling Political Prophecy」. *Poetica* 第 77 号:61-77 頁, 2012 年 7 月.
2. 「Caxton's Exemplar and a Copy from Caxton's Edition of the *Chronicles of England*: MS HM136 and BL Additional 10099」. *Arthuriana* 第 22.4 号 (2012, Winter): 120-39 頁, 2012 年冬号.
3. 「Research Note-4/4: Study on the Prose Brut MSS in relation to William Caxton's *Chronicles of England* (1480)」. 『杏林大学紀要』第 25 号:139-218 頁, 2013 年 3 月.

3. 「持続時間及び高さの変動が長音の知覚に与える影響—中国語北方方言を母語とする日本語学習者を対象とした調査報告—」. 第 9 回国際日本語教育・日本研究シンポジウム, 香港, 平成 24 年 11 月 25 日.
4. (共同発表) 「中上級レベルの学習者を対象とした発音アクティビティ教科書の構築」. 日本語教育方法研究会第 40 回研究会, 東京, 平成 25 年 3 月 10 日.

論文

1. 「持続時間及び高さの変動が長音の知覚に与える影響—中国語北方方言を母語とする日本語学習者を対象とした調査報告—」. 『杏林大学外国語学部紀要』第 25 号:129-138 頁, 2013 年 3 月

その他

1. 「日本語の音声 I, II」. 現職教員特別参加制度 (日系) 技術補完研修 (全 2 回) 主催: 海外日系人協会, 2012 年 6 月.
2. 第 4 回「音声 I 音声学とは?」. 第 6 回「音声 II 日本語の音声について」八王子日本語ボランティア入門講座, 主催: 八王子国際交流, 2012 年 7 月.
3. 「口頭表現と音声 1~3」. 日系継承教育研修教師育成 II (全 3 回), 主催: 海外日系人協会, 2013 年 1 月~2 月.
4. (海外日本語教育実習の打ち合わせ) ニュージーランド・クライストチャーチ工科大学訪問, 2012 年 8 月 26 日~30 日.
5. (共著) 『会話とスピーチの発音 5-6』. 早稲田大学日本語教育研究センター, 2013 年 3 月.

岩本 和良

その他

1. (査読委員) 日本機能言語学会刊『機能言語学研究』第 7 巻への投稿論文.
2. (海外出張) 選択体系機能言語学分野の Greaves 名誉教授, Benson 教授, Cummings 教授と学位請求論文用のリサーチ結果を分析. York University (カナダ), 2012 年 8 月 22 日~9 月 10 日.

宇佐美 貴浩

口演

1. (研究発表) 「食料のサステナビリティとブランド化—トレーサビリティ, 有機農業, フェアトレードに対する消費者評価について—」立教大学ビジネスデザイン研究科, 東京, 2013 年 1 月.

その他

1. (運営)「日本中世英語英文学会東支部 第28回研究発表会」日本中世英語英文学会東支部, 於松本・信州大学, 2012年6月16日.
2. (面接官)日本政府観光局(JNTO)通訳案内士口述試験試験官, 於東京・昭和女子大学, 2012年12月9日.
3. (写本調査) ロンドン・大英図書館, オックスフォード・ボドリアン図書館にて写真撮影とデジタル画像取得. 2012年8月19日～9月1日.
4. 八王子学園都市センター「いちょう塾」提供講座. 2012年4月～9月「身体表現論」 2012年9月～2013年3月「児童文学論」.
5. 大学コンソーシアム八王子提供講座. 2012年4月～9月「身体表現論」.
6. 日本中世英語英文学会東支部(幹事)
7. 日本中世英語英文学会(研究助成セミナー委員)

千野 万里子

口演

1. 「同義並列語に見られる南北差」. 日本中国語学会第62回全国大会, 京都, 平成24年10月27日.

論文

1. 「現代中国語に見られる近世中国語の影響(4)一使役・受身表現を中心に」, 『杏林大学外国語学部紀要』第25号:219-240頁, 2013年3月.

鄭 英淑

口演

1. 「日韓における漢字・漢語の受け入れ方」. 八王子市学園都市大学・大学コンソーシアム八王子, 八王子, 平成24年11月15日.
2. 「言葉と意味」. 八王子市学園都市大学・大学コンソーシアム八王子, 八王子, 平成25年1月16日.
3. 「‘architecture’の訳語をめぐって」, 漢字文化圏近代語研究会, 韓国・高麗, 2013年3月22日.

論文

1. 「『英吉利単語篇』の訳語集にみる訳語考察」. 韓国日本近代学会, 『日本近代学研究』第38輯:7-20頁, 2012年11月.

著書

1. 「語誌編」, 『近代中日語彙交流史』沈国威著, 李漢燮外翻訳, 高麗大学校出版部, 2012年5月, 313-402頁.

野口 洋平

受賞, 特許等知的財産関係, 学会主催, 報告書等

1. (運営)日本観光ホスピタリティ教育学会 第12回全国大会, 2013年3月2日, 3日.

その他

1. (司会)日本観光研究学会 第27回全国大会, 於宮城大学, 2012年12月.
2. 日本観光ホスピタリティ教育学会(理事会幹事, 学会事務局)
3. 東京シティガイド検定委員会作問部会委員
4. 中日本高速道路株式会社・中日本エクスプレス株式会社CS(顧客満足)評価委員会委員
5. 文京区アカデミー推進協議会委員

古本 泰之

口演

1. (講演)「杏林大学における地域連携活動」. 大学コンソーシアム八王子 第2回FD・SDフォーラム, 八王子, 平成24年8月31日.
2. (パネリスト)「学生目線で掘り起こす地域の魅力」. 第9回全国大学コンソーシアム研究交流フォーラム, 相模原, 平成24年9月2日.
3. (講演)「観光研究(観光学)の歴史的展開と近年の課題」. 大学コンソーシアム八王子第4回学生発表会, 八王子, 平成24年12月8日.

論文

1. 「静岡県伊豆高原の観光地形成過程においてアートイベントが果たした役割」. 『杏林大学外国語学部紀要』第23号:285-301頁, 2013年3月.

その他

1. (書評) 真板昭夫・石森秀三・海津ゆりえ編著(2012)『エコツーリズムを学ぶ人のために』世界思想社. 『観光ホスピタリティ教育』第6号:41-43頁, 平成24年10月発行.
2. (記事)「大学と自治体 連携幅拡大」, 読売新聞(朝刊, 多摩版), 平成24年5月25日.
3. 大学コンソーシアム八王子産学公連携事業部会(外部委員・副部会長)
4. 大学コンソーシアム八王子大学等連携事業地域貢献ワーキンググループ(外部委員・副座長)
5. 八王子市「伝統文化ふれあい事業」(実行委員会委員)

張 弘(宮首 弘子)

論文

1. 「通訳者の主体性についての考察」. 『杏林大学外国語学部紀要』第25号:141-162頁, 2013年3月.

著書

1. (単著)『30 回読むだけで確実に身につく! 中国語トレーニングブック』NHK 出版, 2012 年 10 月.
2. (編著・校正)『中国語新語ビジネス用語辞典 Ver. 3』(電子辞書改訂版) 大修館書店出版, 2011 年 8 月.
3. (連載)「「～ている」の“在 / 正 / 正在 / 呢 / ”と“着”」.『まいにち中国語』NHK ラジオテキスト 2012 年 4 月号:122-123 頁, NHK 出版, 2012 年 3 月.
4. (連載)「ちょっと意外な結果補語」.『まいにち中国語』NHK ラジオテキスト 2012 年 5 月号:102-103 頁, NHK 出版, 2012 年 4 月.
5. (連載)「イメージを定着させよう! 形容詞の重ね型」.『まいにち中国語』NHK ラジオテキスト 2012 年 6 月号:106-107 頁, NHK 出版, 2012 年 5 月.
6. (連載)「決定版! 受身文」.『まいにち中国語』NHK ラジオテキスト 2012 年 7 月号:128-129 頁, NHK 出版, 2012 年 6 月.
7. (連載)「使役文を自在にあやつって達人レベルに!」.『まいにち中国語』NHK ラジオテキスト 2012 年 8 月号:102-103 頁, NHK 出版, 2012 年 7 月.
8. (連載)「主述フレーズが目的語」.『まいにち中国語』NHK ラジオテキスト 2012 年 9 月号:102-103 頁, NHK 出版, 2012 年 8 月.

その他

1. (国際交流) 大連大学・大連外国語学院との学術交流協定に関する協議, 2012 年 5 月 22 日～25 日.
2. (国際交流) GP 関連業務のための公務出張(北京第二外国語大学・北京語言大学・北京外国語大学との間での学術交流ならびに協定校間の諸業務に関する打合せ), 2013 年 1 月 4 日～8 日.

イアン・ランバート (Iain Lambert)

口演

1. “Japanese Learners and their Beliefs about English.” 18th IAWE Conference, Sun Yat Sen University, Guangzhou, China, 2012 年 12 月 8 日.
2. “Teaching Global Literature in English.” 4th Liberlit Conference, Tokyo, 2013 年 2 月 15 日.

著書

1. “Engaging Learner Creativity through Non-Standard Language in Literature,” in Matsuda & Suwannamai (eds), *Teaching English as an International Language: Principles and Practices*, Multilingual Matters, 2012.

井手 拓郎

口演

1. (ファシリテーター)「スワクルプロジェクト杏林大学連携調査事業」. 長野県諏訪市, 諏訪市, 平成 24 年 8 月 1 日～3 日.
2. (ファシリテーター)「地域連携の効果と悩み」. 「学生が育つ教育～良い授業を支える工夫を共有しよう～」大学コンソーシアム八王子 第 2 回 FD・SD フォーラム, 八王子, 平成 24 年 8 月 31 日.
3. (ファシリテーター)「諏訪地域他業種間連携による観光プロジェクト創出に関する調査」. 北陸信越運輸局, 諏訪市ほか, 平成 25 年 3 月 5 日～7 日.

論文

1. 「大学の観光教育におけるキャリア教育研究課題は何か?」.『杏林大学外国語学部紀要』第 25 号:303-326 頁, 2013 年 3 月.

北村 一真

論文

1. 「ミル『自然論』の誤訳分析—推論能力を中心に—」.『杏林大学外国語学部紀要』第 25 号:327-356 頁, 2013 年 3 月.
2. 「文法読解を中心とする英語教授法の批判的構築に向けて—大学教養課程の英語における一つのモデル—」.『杏林大学研究報告—教養部門』第 30 巻:119-128 頁, 2013 年 3 月.

八木橋 宏勇

口演

1. 「認知言語学から見た日本語と英語の世界」. 2012 年度慶應母親学生会講演会, 八王子, 平成 24 年 6 月 17 日.
2. 「聖書の引喩と文体的効果」. 日本文体論学会第 101 回大会, 東京, 平成 24 年 6 月 24 日.
3. 「津軽の文化としての津軽弁—方言と医療コミュニケーション—」. 弘前大学医学部「臨床医学入門」, 弘前, 平成 24 年 7 月 11 日.
4. (パネリスト)「ことわざの暗示引用」. 第 24 回ことわざフォーラムシンポジウム「ことわざと言語学」, 東京, 平成 24 年 11 月 10 日.
5. 「翻訳が成功する時～言葉はいかにして文化の壁を超えるのか～」. 杏林大学文化講演会, 羽村, 平成 24 年 11 月 25 日.
6. 「語の多義・文法の多義」. いちよう塾「意味の世界」, 八王子, 平成 25 年 1 月 10 日.
7. 「文脈と多義」. いちよう塾「意味の世界」, 八王子, 平成 25 年 1 月 31 日.

論文

1. 「ことわざの創造的使用に関する認知的考察」
・『杏林大学研究報告—教養部門』第30巻
:111-118頁,2013年3月.
2. 「結果と過程の認知意味論—語彙的アスペクトを
再考する—」.『杏林大学外国語学部紀要』第25
号:357-370頁,2013年3月.

著書

1. 『聖書起源のイディオム 42章』橋本功,八木橋
宏勇訳,慶應義塾大学出版会,2012年9月.

受賞,特許等知的財産関係,学会主催,報告書等

1. (運営)「社会言語科学会第30回研究大会」
.2012年9月1日,2日.於 東北大学川内キャン
パス.
2. (運営)「認知言語学セミナー」.日本認知言語
学会主催.2012年9月7日.於 大東文化大学板
橋キャンパス.
3. (運営)「日本認知言語学会第12回全国大会」
.2012年9月8日,9日.於 大東文化大学板橋
キャンパス.
4. (運営)「社会言語科学会第31回研究大会」
.2013年3月16日,17日.於 統計数理研究所・
国立国語研究所.

その他

1. (注釈・解説)『メタファに満ちた日常世界』橋
本功,八木橋宏勇,北村一真,長谷川明香,松
柏社,2012年10月.
2. 日本認知言語学会(理事・事務局)
3. 社会言語科学会(事務局委員会委員)
4. 日本文体論学会(運営委員・学会誌編集担当)
5. 『言語と人間』研究会(企画委員)
6. NPO 法人地球ことば村—世界言語博物館(運営委
員・企画検討委員長・活動検討委員会副委員長)
7. 日本政府観光局(JNTO)外部委員

赤嶺 恵理

口演

1. 「性風俗関連産業に巻き込まれた子どもの支援を
めぐる課題に関する研究—子どもを対象とした
性的搾取の態様と被害に焦点をあてて—」.平成
24年度日本社会福祉学会関東地域ブロック研究
大会,東京,平成25年3月9日.

藤田 由香利

その他

1. インテンシブ中国語1年生用副教材「中国語読
物編」.2012年10月.
2. 日本語中国語同時通訳教材 DVD- I .2013年3月